

# 新内閣の発足にあたって

－継承と改革、そして地方に活力を－

2020年9月16日  
全国中小企業団体中央会  
会長 森 洋

本日、菅義偉前官房長官が、内閣総理大臣に選出された。安倍内閣の政策継承を掲げて発足されたことは、新型コロナウイルスの影響や大規模な自然災害の多発化で未曾有の危機に直面する日本経済の閉塞感、混沌とするグローバル情勢など、山積する重要課題に空白を置かずに取り組む強い姿勢の現れであると思われる。地方の疲弊の打開を期す並々ならぬ菅総理の強い意欲についても期待するところ大である。

新政権においては、国内外のマイナス要因をプラスに転じさせるべく、我が国の英知を総結集し、菅総理が強力なリーダーシップを発揮することで、国民に安心と活力を与えることを期待する。

さらに、持続力を伴う経済成長の実現に向け、共に未来に希望が持てるビジョンを早期に明示し、地方の活力を取り戻して地域経済社会を好循環に導く経済財政運営も必要となる。全国津々浦々の地域中小企業に景気回復の実感を与えるよう政策運営を期待したい。

我々、中小企業団体中央会が支援する中小企業・小規模事業者の連携・組織化政策は、中小企業同士の共助を重要な柱として、戦後数々の厳しい局面や経済・社会環境の変革局面を乗り越えるための活力となってきた。現在の未曾有の難局においても、異なる経営資源の組み合わせによって、企業間の相互の補完・補強を図り、イノベーションの創出を可能とする機能を十分に発揮することで、地方に活力をもたらすインフラとして役割を果たすことが可能である。このような組合の機能と組織を十分活用されるような政策の推進を期待している。

新内閣の発足にあたり、特に下記の諸点に対して実効性ある政策を迅速かつ着実に取り組まれるよう、本会から強く求めるところである。

## 記

1. 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策と経済活動の両立
2. 中小企業の労働生産性の向上・変革を加速させるDX・デジタル化の推進
3. 多発する自然災害からの復興支援と経営強靱化・事業継続力強化策の推進
4. 中小企業の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
5. 観光や農産物等成長が期待される地域資源を活用した地方活性化の推進